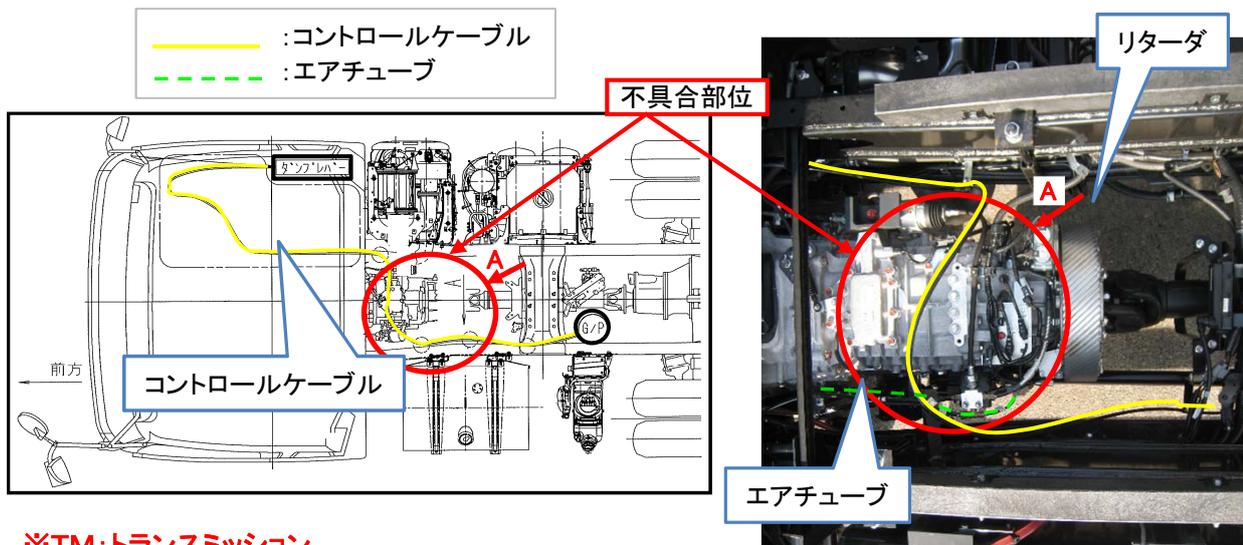


改善箇所説明図



※TM:トランスミッション

現状		改善内容	
<p>・キャブバックT/M上コントロールケーブル固定状況①</p>	<p>・固定位置をT/M上からシャシフレーム側に変更する。</p>		
<p>・キャブバックT/M上コントロールケーブル固定状況②</p>	<p>・シャシフレーム側でコントロールケーブルを固定クリップで固縛する。(リターダ無し車両と同様とする)</p>		

A
矢視

不具合の内容

大型ダンプ車において、ダンプ操作用コントロールケーブルの固定クリップの強度が不足しているため、トランスミッションの振動により固定クリップが破損することがある。そのため、コントロールケーブルがエアチューブに接触し、そのままの状態で使用すると、エアチューブが損傷して、最悪の場合、エアが漏れ、クラッチ・補助ブレーキ(リターダ)等の機能が失陥する。

改善の内容

- ・コントロールケーブル固定クリップを対策品に交換する。あわせてコントロールケーブルの配索方法を変更する。
- ・エアチューブおよびコントロールケーブルを点検し、損傷がある場合は新品に交換する。

識別方法

改善実施済車両は、トランスミッションの固定クリップステーの有無にて識別する。
(改善実施済車両は、トランスミッション上に固定クリップステーが無い)